

【相談支援専門部会報告】

相談支援専門部会について

【目的】

「相談支援専門部会」は、千葉県における相談支援体制を構築するという目的で、去る9月28日に設置されました。委員は14名で構成されています。

その背景(=課題)として、次の5点があります。

- ① ケアマネジメントの制度的導入と、三障害統合のサービスの提供という、障害者自立支援法の理念を実現する必要があること
- ② 障害福祉サービス等を総合的にプランニングする相談支援事業(=ケアマネジメント、自立支援法の要)を活性化する必要があること
- ③ 相談支援事業、福祉制度を担う人材育成を進める必要があること
- ④ 地域自立支援協議会の運営を充実させる必要があること
- ⑤ 地域では、指定相談支援事業所と委託相談支援事業所が混在、偏在し、さらに機能分化も進んでいないこと

【協議事項（今後の方向性）】

相談支援に関する課題は、広範囲にわたっておりますが、先日の初回の部会では、県内市町村の相談支援事業の実情を委員全体で共通理解することから始め、論点を障害者計画に掲げた課題にある程度絞込むことなどを確認したところです。

障害者自立支援法の改正の動きも注視しながら、制度の現状での問題点を明らかにするとともに、千葉県における相談支援体制のあるべき姿のモデル形を模索し、施策提言につなげたいと考えています。

協議の柱としては、

- ① 障害保健福祉圏域等を単位とした、市町村と県の連携体制
 - ② ケアマネジメント体制の充実・強化
 - ③ 中核地域生活支援センターと市町村の相談支援事業との機能調整
 - ④ 地域自立支援協議会への支援(活性化)
 - ⑤ 訪問支援(アウトリーチ)型の相談支援システムの検討等
- 等を考えています。

今年度内に全3回の開催を予定しており、次回開催は12月16日の予定です。

なお、次回には、本年4月中旬、県内の相談支援事業をリードする形で、総合相談支援体制を開設された、市川市の基幹型相談支援センター「えくる」の所長さんにヒヤリングという形でおいでいただき、いろいろ議論に加わっていただく予定です。